

## 日本音響学会 2022 年春季研究発表会 参加・実施要領

期 日 2022 年 3 月 9 日(水), 10 日(木), 11 日(金)  
会 場 遠隔(オンライン)開催  
※Web 会議システム (Zoom) を利用したオンライン開催で実施します。  
詳細は, 学会ホームページ, e-mail 等でお知らせします。  
実行委員会 2022 年春季研究発表会遠隔開催実行委員会

### 【重要事項】

★講演発表は, 講演論文集(予稿集)発行をもって告知・発表と見なします。なお, 発行日(公開日)は, 2022 年 2 月 23 日(水)です。

★遠隔(オンライン)開催は, Web 会議システム Zoom と Learning Management System (LMS) の Moodle を利用して行います。なお, 第 1 日(3/9)第 12 会場の高臨場感オーディオ(スペシャルセッション)では, Webinar を使用します。

システム運用については細心の注意を払いますが, Zoom を含むネットワーク上のシステムトラブルについては, 原因の所在を明らかにすることが難しいため, 免責とさせていただきますのでご了承下さい。またこれらのトラブルにより, 十分なサービスを提供できない可能性があることをあらかじめご容赦ください。

★2022 年春季研究発表会遠隔開催実行委員会では, 接続等のトラブルに対する相談窓口 (Zoom) を設けます。

★2022 年春季研究発表会の参加者(座長, 副座長, 会員の招待講演者, 一般講演発表者, 聴講参加者)は, 参加の手続きが必要です。参加の手続きをされた方に, Web 会議システムにアクセスするための「User ID」と「パスワード」をお知らせします。「事前参加登録」をされた方は, 参加登録受領メールの受付番号とパスワードが, 「User ID」, 「パスワード」になります。「会員外の招待講演者」は, 参加手続きは不要です。招待者には, 3 月初旬までに, 「User ID」, 「パスワード」をお送りします。

### ★2022 年春季研究発表会の参加登録について

2022 年春季研究発表会の参加登録は, 「事前登録: Early registration (～2022.2.9)」と「通常参加登録: Late registration (2022.2.10～)」に区分します。「事前登録」期間は, 2021 年 11 月 22 日(月)～2022 年 2 月 9 日(水) とします。

### ★2022 年春季研究発表会の参加登録費について

「事前参加登録費」と「通常参加登録費」は次のとおりです。

参加種別	事前参加登録費 (～2022.2.9) Early registration fee	通常参加登録費 (2022.2.10～) Late registration fee
ア. 正 会 員 …………… (Member)	10,000 円	12,000 円
イ. 終 身 会 員 …………… (Life Member)	5,000 円	6,000 円
ウ. 学 生 会 員 …………… (Student Member)	3,000 円	3,500 円
エ. 賛助会員所属職員 …………… (Sustaining Member)	10,000 円	12,000 円
オ. 会 員 外 学 生 …………… (Non-member Student)	5,000 円	6,000 円
カ. 会 員 外 …………… (Non member)	22,000 円	26,000 円
キ. 高 校 生…………… (High-school Student)	無料 (参加方法については, 事務局にお問い合わせください)	

講演発表者を含む全ての参加者は, できるだけ「事前参加登録」を行ってください。「事前参加登録」を行った方には, 講演論文集を研究発表会の開催前に届くようお送りします。

なお, 事前参加登録, 通常参加登録の参加費につきましては, 学会からの請求に基づき, 速やかにお支払いいただきますようご協力をお願いします。

また、講演発表者も、(講演申込料とは別に)参加登録の手続き、及び参加費の支払いが必要です。  
研究発表会終了後の講演論文集の販売価格は、会員 12,000 円、会員外 26,000 円です。

#### ★2022 年春季研究発表会の「通常参加登録」について

事前参加登録期間(2021. 11. 22～2022. 2. 9)後の参加申込は、「通常参加登録」になります。「通常参加登録」の場合は、講演論文集及び請求書は、2022 年春季研究発表会終了後にお送りいたします。できるだけ、事前参加登録をいただきますようお願いいたします。

「通常参加登録」の手続きは、学会ホームページの通常参加登録専用のフォームからお申込みいただくことになります。お申し込み後、e-mail で「User ID」と「パスワード」をお送りしますが、即時の対応は難しいと考えております。また、講演論文集は会期後の送付を予定しています。

#### ★2022 年春季研究発表会の論文集発行日(公開日)

2022 年春季研究発表会の論文集発行日(公開日)は 2022 年 2 月 23 日(水)です。  
特許出願等の手続きを予定されている方はご注意ください。

#### ★2022 年春季研究発表会講演論文集のダウンロード

2022 年春季研究発表会では、講演論文集のダウンロードを検討しております。詳細は、学会ホームページでお知らせします。

#### ★ポータルサイトの URL, QR コード

ポータルサイトの URL は、<https://mtg.acoustics.jp/> です。QR コードは、次のとおりです。  
なお、2022 年春季研究発表会のポータルサイトは、3 月初旬に公開予定です。



#### 【詳細情報】

##### I. 日本音響学会 2022 年春季研究発表会の開催形態

2022 年春季研究発表会は、Web 会議システム(Zoom)を利用した遠隔(オンライン)開催で実施します。詳細と最新情報は学会ホームページに掲載しますので参照下さい。

(注)遠隔開催となりますが、以下の参加方法、発表方法等のご案内において、「会場」、「入室」等の通常の研究発表会に見立てた表現を使用しています。いずれもオンライン上におけるバーチャルな「会場」、「入室」となりますことをご了解ください。

##### 1. オンライン開催への参加方法

- (1) 参加者(講演発表者、聴講参加者)は、2022 年春季研究発表会遠隔開催実行委員会が準備する「ポータルサイト」へ入っていただきます。ここでは、発表スケジュール、特設サイト、イベント・行事、賛助会員ポスター展示、講演論文集ダウンロード、相談窓口、休憩室・救済会場・プレビュールーム(今回より用意します。)等の案内があります。「ポータルサイト」へのアクセスには User ID とパスワードは必要なく、どなたでも入ることができます。  
ポータルサイト URL: <https://mtg.acoustics.jp/> (2022 年 3 月初旬公開)
- (2) 同ポータルサイトに、2022 年春季研究発表会「オンライン会場」への入口を設けます。
- (3) オンライン会場への入場には、「User ID, パスワード」が必要です。「事前参加登録」をされた方にお送りする参加登録受領メールの「受付番号(User ID)」、「パスワード」が、入場に必要「User ID」と「パスワード」になります。「通常参加登録」の方にも「User ID」、「パスワード」をお送りします。
- (4) オンライン会場には、会場別スケジュール、会場 URL、ポスターセッション発表のポスター(ポスター掲示サイト)等を表示してあります。
- (5) 参加者は、開催中のすべての発表(口頭発表セッション、ポスターセッション)に参加可能です。
- (6) Zoom の画面で表示される名前(Zoom 表示名)は、通常開催の研究発表会におけるネームカードにあたり、

研究発表会運営を担当している委員会で権限の割当等で重要です。  
研究発表会参加者は、次の区分で Zoom 表示名をお願いします。

#### ☆Zoom 表示名の一覧

- ・ 聴講者：氏名(所属・User ID)
- ・ 口頭発表者：P\_氏名(所属・User ID)
- ・ ポスター発表者：PP\_氏名(所属・User ID)  
※講演番号に P があるポスター発表者
- ・ ポスター発表者：PQ\_氏名(所属・User ID)  
※講演番号に Q があるポスター発表者

- ・ 座長・副座長：C\_氏名(所属・User ID)
- ・ 学術委員会委員/研究委員会委員：R\_氏名(所属・User ID)
- ・ 学会スタッフ：S\_氏名(所属・User ID)

注)口頭発表者、ポスター発表者は、ご本人の発表があるセッション中に表示し、当該セッションの終了後は、聴講者の表示「氏名(所属・User ID)」に変更してください。

座長・副座長もセッションご担当の時間帯は、上記表示でお願いします。セッションが終了後は、聴講者の表示「氏名(所属・User ID)」に変更してください。

#### (7) 参加にあたっての注意

- ・ オンライン会議およびポスター展示資料の保存(録音・録画・画面キャプチャ等)や再配布は禁止します。
- ・ 参加情報(User ID, パスワード, URL 等)を「参加申込者」以外と共有することは厳禁です。  
また、「参加申込者」以外の方が「参加申込者」の画面を閲覧することも禁止いたします。

## 2. 口頭発表 [オンライン開催での発表・聴講等]

- (1)あらかじめ端末に Zoom をインストールして、参加者の Zoom 表示名を設定しておき、前記 1. に従って入場した「口頭発表会場ページ」の「入室可能な会場(リンク)」に入室してください。
- (2)発表者の方は、セッションの始まる 15 分前までに当該セッションに入室をお願いします。
- (3)聴講時には、ご希望の会場(URL)に入室してください。
- (4)入室後ご発言時以外は、ご自身の PC のマイクロホンミュートを設定にしてください。キーボード音等のノイズやハウリング・エコー等を防ぐため、ご協力をお願いします。
- (5)口頭発表の方は、講演発表時間になったら、発表に使用するアプリケーション画面を共有して、自身の PC のミュートを解除し、座長の紹介に続いて発表を行ってください。
- (6)講演時間は 12 分、質問時間 3 分とし、15 分で 1 件を終了することを厳守ください。
- (7)聴講参加者は、通常講演と同様、講演に対する質問が可能です。座長の指示に従ってください。発言の際はミュートを解除してください。Zoom のチャット機能(参加者全員向け)も利用できます。
- (8)セッション終了後 20 分の「フリータイム」を設けております。次のセッションがプログラムされている場合は、「フリータイム」後にさらに 10 分の「準備時間」を設定します(合計 30 分となります)。「フリータイム」は、通常開催の場合と同様、座長の判断により、残りの質問や担当セッションの最近の話題などの討論の時間に充てることができます。通常開催では、フリータイムに 5 分の移動時間を設けますが、今回は「準備時間」としております。

#### 発表資料作成時の注意事項：

- ・ オンライン発表は著作権法上の公衆送信にあたると思われますので、共有されるスライドや映像・音声などのコンテンツは著作権上の問題がないものに限るようご注意ください。また、必要な場合は著作権の権利者から事前許諾を得てください。
- ・ プレゼンテーション資料の著作権は発表者に帰属します。当該資料が第三者の権利や利益を侵害した場合、発表者が一切の責任を負うこととなりますのでご注意ください。

## 3. ポスターセッション [オンライン開催での発表・聴講・質問]

- (1)今回のポスターセッションは、

- 1) 発表者が作成したポスターを掲示する web サイト(「ポスター掲示サイト」) (Moodle を利用)
  - 2) 発表者と聴講者がリアルタイムに質疑を行う「ポスター (質疑) セッション」(Zoom のブレイクアウトルーム機能を利用)
- の2つにより行われます。
- (2) ポスター発表者は、研究発表会開催前日(2022/3/8)までに、ポスターを Moodle にアップロードしてください。アップロードの具体的な方法については、2022 年 2 月下旬に案内予定です。なお、アップロード頂けるコンテンツは、ポスターの画像ファイルまたは PDF 形式ファイル(説明音声やデモ音の埋め込み可)、音声ファイルです。合計 100MByte を上限とします。なお動画のアップロードはできませんが、外部動画サイト等へのリンクを記載頂くことは可能です。
  - (3) 「ポスター掲示サイト」にあるポスターは、会期中を通して閲覧が可能です。フォーラムやチャット機能で質問等を記入することができます。
  - (4) 「ポスター (質疑) セッション」では、ポスター講演それぞれに Zoom ブレイクアウトルームを割り当てます。聴講参加者は URL に入り、(ブレイクアウト)ルームに入室して質疑を行ってください。
  - (5) 「ポスター (質疑) セッション」の質疑時間は 60 分です。60 分の質疑時間中の対応は発表者の義務といたします。
- 2022 年春季研究発表会からポスターセッションが連続する場合は、15 分のポスター発表者の交代時間を設けました。ポスターセッションの時間割は、プログラムでご確認下さい。
- (6) 今回の 1 「ポスター (質疑) セッション」の発表件数は、最大 15 です。聴講者はできるだけ多くのポスター発表(ブレイクアウトルーム)への入室を心がけてください。

#### 発表資料作成時の注意事項：

- ・オンライン発表は著作権法上の公衆送信にあたると思われるので、共有されるスライドや映像・音声などのコンテンツは著作権上の問題がないものに限るようご留意ください。また、必要な場合は著作権の権利者から事前許諾を得てください。
- ・プレゼンテーション資料の著作権は発表者に帰属します。当該資料が第三者の権利や利益を侵害した場合、発表者が一切の責任を負うこととなりますのでご注意ください。

#### 4. 参加費：

【重要事項】に記載のとおり、参加費は、「事前参加登録」と「通常参加登録」の区分があり、次のとおりです。

今回の研究発表会では、できるだけ「事前参加登録」を行ってください。事前参加登録費は、通常参加登録費に比べて安価になっています。また、「事前参加登録」を行った方には、講演論文集を研究発表会の開催前に届くようお送りします。

事前参加登録期間後の参加申込は、「通常参加登録」になります。「通常参加登録」の場合は、講演論文集は、2022 年春季研究発表会終了後にお送りいたします。

「通常参加登録」の手続きは、学会ホームページの通常参加登録専用の web ページからお申込みいただくこととなります。「通常参加登録」の方にも「User ID」と「パスワード」をお送りしますが、即時の対応は難しいと考えております。また、講演論文集は会期後のお届けになる予定です。できるだけ時間に余裕のある「事前参加登録」の手続きをお願いします。なお、事前参加登録、通常参加登録の参加費につきましては、学会からの請求に基づき、速やかにお支払いいただきますようご協力をお願いします。

参加種別	事前参加登録費 (～2022. 2. 9) Early registration fee	通常参加登録費 (2022. 2. 10～) Late registration fee
ア. 正 会 員 …………… (Member)	10,000 円	12,000 円
イ. 終 身 会 員 …………… (Life Member)	5,000 円	6,000 円
ウ. 学 生 会 員 …………… (Student Member)	3,000 円	3,500 円
エ. 賛助会員所属職員 …………… (Sustaining Member)	10,000 円	12,000 円
オ. 会 員 外 学 生 …………… (Non-member Student)	5,000 円	6,000 円

カ. 会 員 外 ……………	22,000 円	26,000 円
(Non Member)		
キ. 高 校 生……………	無料 (参加方法については、事務局にお問い合わせください)	
(High-school Student)		

※ 会員の参加費は消費税の課税対象外 (不課税) です。会員外は消費税の課税対象です。  
 なお、研究発表会終了後の講演論文集の販売価格は、会員 12,000 円、会員外 26,000 円です。

## 5. 講演論文集について

- (1) 構成：参加・実施要領，開催日順会場順のプログラム，講演要旨（アブストラクト）及び講演論文を収録した CD-ROM。
- (2) 講演論文集に印刷した開催日順会場順のプログラムの講演に付記してある括弧内の数字は，講演論文集の講演要旨のページ番号です。講演論文個々のページ番号は，CD-ROM に収録のプログラム及び講演論文に表示してあります。
- (3) 発表会終了後の頒布（送料，消費税を含みます。）
 

ア. 会 員 ※ ……………	12,000 円
イ. 会 員 外 ……………	26,000 円

 ※会員は当学会個人会員，法人会員(賛助会員，特殊会員)を含みます。
- (4) 2022 年春季研究発表会では，講演論文集のダウンロードを検討しております。詳細は，学会ホームページでお知らせします。

## 6. 連絡先・申込先：学会への連絡は以下にお願いします。

一般社団法人 日本音響学会事務局  
 〒101-0021 東京都千代田区外神田 2-18-20 ナカウラ第 5 ビル  
 Tel. 03-5256-1020(開催中も業務中は連絡可能です)，Fax: 03-5256-1022  
 e-mail : asj-meeting@acoustics.jp (研究発表会に関する事項)  
 e-mail : asj-apply@acoustics.jp (講演論文集の申込に関する事項)

## II. 日本音響学会 2022 年春季研究発表会プログラムについて

- (1) プログラムの講演者氏名に○印を付したものは講演発表者，◎印は講演発表者で栗屋潔学術奨励賞の対象となる者，☆印は講演発表者で学生優秀発表賞及び栗屋潔学術奨励賞の対象となる者，△印は非会員です。  
 なお，無印は連名の会員を示します。
- (2) 座長，副座長は都合により一部変更になる場合もあります。
- (3) 講演の取消について：原稿受領後の講演の取消は原則として認めません。やむを得ない事情で取消をせざるを得ない場合には，事前に学会事務局にご連絡下さい。
- (4) 代理発表について：原則として代理発表は認めません。やむを得ない事情があり，事前に文書(様式は事務局で準備します)が学会事務局に提出された場合には，連名者に限り代理発表を認めることがあります。当初の講演予定者及び代理発表者は，会員である必要があります。
- (5) 発表に用いる言語は，日本語及び英語とします。

## III. 選奨行事

日 時 2022 年 3 月 10 日 (木) 13:00～13:45 [研究発表会第 2 日]  
 会 場 参加に必要な URL は，ポータルサイトでお知らせします。  
 内 容 日本音響学会論文賞，独創研究奨励賞，学会活動貢献賞，栗屋潔学術奨励賞，学生優秀発表賞の表彰

## IV. 特別講演

日 時 2022 年 3 月 10 日 (木) 13:45～14:45 [研究発表会第 2 日]  
 会 場 参加に必要な URL は，ポータルサイトでお知らせします。  
 講演者・演題  
 『きつねたちのいるところ』 写真家 井上 浩輝 氏  
 北海道できつねたちの気配を感じ追いながら生きる写真家のお話です。

## V. 懇親会

日 時 2022 年 3 月 10 日 (木) 18:30～19:30 [研究発表会第 2 日]

**会場** オンライン開催(Gather)。詳細は、学会ホームページ等でお知らせします。  
**会費** 無料  
**参加** 事前申し込み制ですので、事前参加登録からお申し込みください。参加に必要な情報をお送りします(準備の都合上、直前のご案内になります)。

## VI. スペシャルセッション

### ア. 音声研究委員会

分野名：単独  
和文テーマ：教育支援のための音声処理技術  
英文テーマ：Speech processing technologies for education support  
会場：第3日第3会場 午後－前半，午後－後半，午後－後半B

### イ. 聴覚研究委員会

分野名：単独  
和文テーマ：人工内耳と聴覚の順応  
英文テーマ：Cochlear implantation and the adaptation of auditory system  
会場：第3日第4会場 午後－後半，午後－後半B

### ウ. 建築音響研究委員会

分野名：単独  
和文テーマ：遮音・吸音における新しい計測方法の展望  
英文テーマ：Future prospect of new measuring techniques for sound insulation and sound absorption performances  
会場：第1日第5会場 午後－後半

### エ. 音楽音響研究委員会

分野名：単独  
和文テーマ：音楽と電子楽器－歴史と最先端－  
英文テーマ：Music and Electronic Musical Instruments：History and the cutting edge  
会場：第3日第9会場 午後－後半

### オ. アコースティックイメージング研究委員会

分野名：共催(アコースティックイメージング，超音波)  
和文テーマ：非破壊検査におけるAI(人工知能)とICT(情報通信技術)活用の動向  
英文テーマ：Artificial intelligence and information and communications technology in non-destructive testing  
会場：第1日第6会場 午後－後半，午後－後半B

### カ. 音声コミュニケーション研究委員会

分野名：共催(音声コミュニケーション，聴覚・音声)  
和文テーマ：音声言語と脳神経科学－基礎から計算論的研究まで－  
英文テーマ：Speech/Language and Brain Science: From Basic Science through Computational Research  
会場：第1日第8会場 午前－前半，午前－後半，午後－前半

### キ. 軟骨伝導調査研究委員会

分野名：単独  
和文テーマ：軟骨伝導デバイスの課題－補聴器の臨床応用と軟骨伝導評価機器の開発－  
英文テーマ：Problem for cartilage conduction device -Clinical application of hearing aid and development of assessment device  
会場：第2日第10会場 午後－前半

### ク. 高臨場感オーディオ調査研究委員会

分野名：共催(高臨場感オーディオ，電気音響，聴覚，音楽音響，建築音響，音のデザイン)  
和文テーマ：高臨場感オーディオと録音再生  
英文テーマ：High-Reality Recording and Reproduction  
会場：第1日第12会場 午後－前半，午後－前半B，午後－後半，午後－後半B

### ケ. スポーツ音響調査研究委員会(その1)

分野名：共催(スポーツ音響，音バリアフリー)  
和文テーマ：2020東京オリンピック・パラリンピックを振り返る  
英文テーマ：Review of 2020 Tokyo Olympic Games

会 場：第2日第11会場 午前-前半

## コ. スポーツ音響調査研究委員会 (その2)

分野名：単独

和文テーマ：スポーツの視点からみたスポーツと音の可能性に関するバトンリレー

英文テーマ：Relaying possibilities of acoustics in sports to future researches

会 場：第3日第11会場 午前-前半, 午後-前半

## VII. 前日企画

2022年春季研究発表会開催日の前日、3月8日(火)に以下のイベントを開催します。

### (1) 技術動向レビュー

19回となる今回技術動向レビューも前回に続きオンラインでの開催になります。今回もその利点を生かしオンラインでの参加が困難な海外在住の日本人研究者を講師として1名お招きし、

現地での研究環境・国際共同研究の動向・取り組み方、コロナ禍での現地の様子(社会全般から自身の仕事のやり方まで)についてお話いただきます。加えまして、音を扱う実験研究を行う研究者にはお馴染みの音響機器を幅広く手掛けておられる企業の技術・研究動向について、コロナ禍による需要の変化等も含めてお話いただきます。

学生や若手技術者の今後の道標、また今後の産業界と学会との連携のあり方の参考になればと考えます。

日 時 2022年3月8日(火) 13:00~14:30 (ビギナーズセミナーと平行開催)

会 場 オンライン開催(Zoom)。詳細は、学会ホームページ等でお知らせします。

講 演 1. 韓国における動物の音声コミュニケーションに関する研究・教育の紹介

小島 哲氏 (韓国脳研究院)

2. ゼンハイザージャパンの技術・研究動向

鎌田 良和氏 (ゼンハイザージャパン)

対象者 賛助会員所属職員、研究発表者参加者

参加費 無料

参加方法

1. 研究発表会参加者は研究発表会ポータルサイトからご参加ください。

2. 技術動向レビューのみを聴講される賛助会員所属職員は研究発表会参加の手続きは必要ありませんが、事前に学会事務局へ電子メール(asj-apply@acoustics.jp)でお申し込み下さい。オンライン参加に必要な情報をお送りします(準備の都合上、講演会直前のご案内になります)。

### (2) ビギナーズセミナー

日 時 2022年3月8日(火) 13:00~14:45 (技術動向レビューと平行開催)

会 場 オンライン開催(Gather)。詳細は、学生・若手フォーラムホームページ、学会ホームページ等でお知らせします。

テーマ 「音響学会 研究発表会への誘い ~学会とはどんなところ?~」

講演者 【講演セッション】 峯松 信明氏 (東大)

【ポスター】 若手研究者 12名予定

内 容 本セミナーでは、音響学会への参加経験が少ない、または参加したことがない方々を主な対象とし、「日本音響学会 研究発表会」という場を詳しく知っていただくことを目的とします。研究発表会という場の目的や意義、音響学という学問の紹介、および音響学における各研究分野の概要や最新の研究動向について、講演とポスターにより紹介します。既に音響学の研究を始めた方々には多様な研究分野を知りご自身の研究に生かしていただき、研究を始めようとする方々には音響学の研究や研究発表会の参加へのモチベーションを上げていただければと考えます。

プログラム

13:00 開会あいさつ、趣旨説明

13:05-13:25 講演セッション①「音響学会と研究発表会(仮)」 峯松 信明氏 (東大)

13:25-13:45 講演セッション②「音響学ライトニングトーク」 若手研究者 12名予定

13:45-14:40 ポスターセッション

14:40-14:45 学生・若手フォーラムの紹介、閉会挨拶

小泉悠馬 (Google Research/学生・若手フォーラム代表)

対象者 音響の分野に新しく入ってこられた/こられようとする学生（非会員も可）

参加費 無料

参加方法 決まり次第，学生・若手フォーラムホームページ，学会ホームページ等でお知らせします。

備考 Gather の利用の都合上，参加者は最大 180 名程度（講演者・運営を入れた同時接続上限 200 名）とします。

### (3) 賛助会員と学生との交流会

この交流会は，音響分野に興味のある学生の皆さんが企業への理解を深める場としていただき，また，賛助会員の皆さんが，学生へ情報を提供する場として利用していただくことを目的として実施いたします。

当学会学生会員を中心に，博士課程，修士課程，学部生の方も含め，情報交換を行いたいと思います。学生の皆様の積極的な参加をお待ちしています。

日時 2022年3月8日(火) 15:00～17:00 予定

会場 オンライン開催(Gather)。詳細は，学会ホームページ等でお知らせします。

概要 1. 全体説明 15:00～15:50 予定（各社のプレゼンテーション）

2. 参加企業ごとの説明会 16:00～17:00（Gather 上に設けたテーブルに分かれて実施）

参加予定企業 募集・照会中

参加費 参加企業・学生ともに無料

参加方法 決まり次第，学会ホームページ等でお知らせします。

### (4) ナイトセッション 「音響学 若手研究者たちの夜会」

日時 2022年3月8日(火) 19:00～21:00 予定

会場 オンライン開催(Gather)。詳細は，学生・若手フォーラムホームページ，学会ホームページ等でお知らせします。

テーマ 「音響学 若手研究者たちの夜会」

内容 多くの学会がオンライン開催となり，研究者同士，特に若い研究者の交流の場がこれまでに比べて減少しています。しかし，研究者間の交流は新たなアイデアの創出や研究へのモチベーションの向上のために大変重要です。そこで，若手研究者や学生同士の双方向の交流の場を設けることを目的として，座談会形式でのオンライン交流会を開催します。

Gather 上に設けたテーブルに数名ずつ着席し，研究にまつわるさまざまなトピック（コロナ禍での研究生活，国際会議の参加心得，キャリア相談…）について話しましょう。飲酒可，途中参加／退出も可能です。気軽にご参加ください。

対象者 音響学会に所属する若手研究者または学生

参加費 無料

参加方法 決まり次第，学生・若手フォーラムホームページ，学会ホームページ等でお知らせします。

## VIII. 賛助会員ポスター展示

「賛助会員ポスター展示」は，出展希望の当学会賛助会員が作成した賛助会員紹介ポスターを，ポータルサイト(3月初旬公開)に掲載いたします。

「賛助会員ポスター展示」は，開催期間中を通して掲載します。ぜひお立ち寄りください。参加企業名は，学会ホームページ等でお知らせします。

## IV. 参加に際しての注意事項等

(1) オンライン会議およびポスター展示資料の保存（録音・録画・画面キャプチャ等手段問わず）や再配布は一切禁止します。

(2) 参加情報(User ID, パスワード, URL 等)を「参加申込者」以外と共有することは禁止とします。

また，「参加申込者」以外の方が「参加申込者」の画面を閲覧することも禁止いたします。

(3) Zoom の画面で表示される名前(Zoom 表示名)は，通常開催の研究発表会におけるネームカードにあたり，研究発表会運営を担当している委員会で権限の割当等で重要です。

研究発表会参加者は，次の区分で Zoom 表示名をお願いします。

### ☆Zoom 表示名の一覧



- ・聴講者：氏名(所属・User ID)
- ・口頭発表者：P\_氏名(所属・User ID)
- ・ポスター発表者：PP\_氏名(所属・User ID)  
※講演番号に P があるポスター発表者
- ・ポスター発表者：PQ\_氏名(所属・User ID)  
※講演番号に Q があるポスター発表者

- ・座長・副座長：C\_氏名(所属・User ID)
- ・学術委員会委員/研究委員会委員：R\_氏名(所属・User ID)
- ・学会スタッフ：S\_氏名(所属・User ID)

注)口頭発表者，ポスター発表者は，ご本人の発表があるセッション中に表示し，当該セッションの終了後は，聴講者の表示「氏名(所属・User ID)」に変更してください。

座長・副座長もセッションご担当の時間帯は，上記表示をお願いします。セッションが終了後は，聴講者の表示「氏名(所属・User ID)」に変更してください。

- (4) Zoom のご利用時には，Zoom の最新版をご利用ください。
- (5) Zoom 入室後ご発言時以外は，ご自身の PC のマイクロホンをミュート設定にしてください。キーボード音等のノイズやハウリング・エコー等を防ぐため，ご協力をお願いします。また，明瞭な音声入力および視聴のために，ヘッドセットマイク，またはヘッドホン・イヤホンをお持ちの方はぜひご利用ください。
- (6)活発なオンライン会議のため，積極的な顔出し(カメラ機能 ON)をお願いします。

#### X. 日本音響学会 2022 年春季研究発表会遠隔開催実行委員会構成（順不同・敬称略）

実行委員長	及川 靖広	(早稲田大学)
幹 事	荒木 章子	(N T T コミュニケーション科学基礎研究所)
〃	岩谷 幸雄	(東北学院大学)
〃	小澤 賢司	(山梨大学)
〃	西浦 敬信	(立命館大学)
〃	西村 竜一	(和歌山大学)
〃	水町 光徳	(九州工業大学)
委 員	朝倉 巧	(東京理科大学)
〃	伊佐 衣代	((株)エーアイ)
〃	井本 桂右	(同志社大学)
〃	鷗木 祐史	(北陸先端科学技術大学院大学)
〃	岡本 拓磨	(情報通信研究機構)
〃	小川 哲司	(早稲田大学)
〃	木谷 俊介	(北陸先端科学技術大学院大学)
〃	齋藤 大輔	(東京大学)
〃	才野慶二郎	(ヤマハ(株))
〃	塩田さやか	(東京都立大学)
〃	藺田光太郎	(長崎大学)
〃	菖木 禎史	(千葉工業大学)
〃	中鹿 亘	(電気通信大学)
〃	原 直	(岡山大学)
〃	深山 覚	(産業技術総合研究所)
〃	堀内 俊治	(KDDI 総合研究所)
〃	松崎 博季	(北海道科学大学)
〃	森川 大輔	(富山県立大学)
〃	矢田部浩平	(早稲田大学)
〃	山内 勝也	(九州大学)